

台風の影響で思うような練習走行もできない週末を過ごすも

決勝は見事3位フィニッシュで開幕戦から連続表彰台を獲得

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup は GR GR86 Cup Car Basic と SUBARU BRZ Cup Car Basic を使ったワンメイクレースでプロフェッショナルシリーズとクラブマンシリーズの2シリーズ制で行われております。プロフェッショナルシリーズには、SUPER GT に参戦中の現役トップドライバーも複数人参加する、国内屈指の高いレベルを誇るワンメイクレースとなっております。



Tx2 CABANA Racing 堤優威 ゼッケン1

堤優威がドライブする「Tx2 CABANA RACING CABANA BS GR86」、国内のトッププロがしのぎを削る、TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズにおいて、昨シーズンは全7戦中5回の表彰台を獲得したことで、悲願のチャンピオンを獲得しました。

2026年シリーズ第1戦オートポリスでは決勝で2位を獲得。第2戦スポーツランドSUGOでもまたもや決勝2位を獲得し、毎戦表彰台を獲得する活躍を見せます。

第3戦は岡山県にある岡山国際サーキットです。コース幅も狭く追い抜きしにくいコースです。そのため予選順位が重要なのは言うまでもありません。しかしチームがサーキット入りした6月25日（木）は、折りしもW台風が日本列島に迫っていました。その影響もあり練習走行の時間のほとんどがレインコンディションとなってしまいます。

予選日の27日（土）と決勝日の28日（日）は台風も通り抜けて、天候は晴れ、路面はドライが想定されます。そのためチームと堤は金曜日に行われたTGR GR86/BRZ Cup占有走行をスキップします。

ドライ路面での練習走行を行えないまま予選を迎えるのは、セットアップを決めることもできず不安はありますが、チームは昨年のデータと堤の意見を取り入れて挑むこととなりました。

QUALIFY

公式予選【PRO】 2026年6月27日（土）12:00～ 天候：曇り 路面：ドライ

タイム 1'45.261 順位 4 位

昨日までの台風の影響は全くなく天候は曇り空と路面はドライになりました。今回の岡山大会はTGR GR86/BRZ Cup以外に、TGR Yaris Cup、ポルシェ スピリット チャレンジ ジャパン2026、VITAレースなど多くのカテゴリーが走行を行います。それらの走行もあり路面の雨も全てなくなりドライ路面でアタックが行えました。



予選時間15分のなかで堤はステイを選択し、他の選手のタイムを確認してからコースインします。終了時間が迫る頃にコースインし渾身のタイムアタックを行います。ウェット路面での練習走行では堤が装着するブリヂストン製POTENZA RE-10Dは抜群の性能を発揮しましたが、曇り空の中ではライバルタイヤを履いたマシンがラップ表の上位を占めていきます。その中で堤は抜群の集中力を見せて、ライバルタイヤ勢の中に割って入る4位を獲得しました。決勝日の気温次第では表彰台獲得の期待も持てます。

RACE

決勝レース【PRO】2026年6月27日（土）12:00～ 天候：晴れ 路面：ドライ
タイム：21'41.967 順位 3 位



天候は曇り空から晴れに変化していき、湿度が高く蒸し暑い中、11時40分からスタート進行が行われ、11時59分決勝レースがスタートします。岡山国際サーキットではコース長が短いこともあり12週の周回数でレースが競われます。

4番グリッドに並んだ堤は前方の10号車菅波選手の動向を確認します。ライバル勢がスタート直後の1コーナーでのトップ争いをを行っているところに隙をついて3位にポジションアップ。

その後は前方2台を追いかけますが、思ったよりペースが上がらずラップタイムも縮まらずやや離れた位置で戦況を見極めつつも、後方のマシンに抜かれない絶妙なラインで走行を続けます。徐々に先頭2台が逃げる展開となり、堤は3位のポジションを確実なものとしてレースを進めていきます。

ラスト3周くらいからペースが上がり始め、徐々に前2台に迫いつき始めていきます。ファイナルラップになり上位2台とレースの駆け引きができるほどの距離間まで近くなり、あと少しというところまで迫りましたが、惜しくも3位でのチェッカーフラッグとなりました。

雨のために走行回数が少なく、練習走行と予選・決勝での路面変化が大きい中での表彰台獲得は、チームの戦略とドライバーのテクニックがうまく噛み合った結果と思われます。

この結果今シーズンの前半3戦が終了しました。今までの3戦で毎戦表彰台を獲得しており、シリーズランキングもトップをキープしチャンピオン獲得に向けて着実にポイントを積み上げています。

次戦は年に1度の北海道十勝スピードウェイで8月8日（土）～9日（日）で開催されます。練習走行などの機会が少ないサーキットでどのような戦いを見せてくれるのか期待したいと思います。



COMMENTS

チームスタッフ&ドライバー

T×2 CABANARacing チーム監督

安藤 宏



台風の影響で金曜までの走行はウェットの練習しかできず、ドライ路面で走る予選はぶっつけ本番でのタイムアタックとなりました。ライバルタイヤが優位なコンディションの中、ブリヂストンタイヤユーザーの中でトップタイムを刻み、4位で予選を終えることができたのは幸先が良かったです。

決勝はドライ路面となりスタート後に3位にポジションアップし、力強い追撃体勢になるかと思われましたが、思ったよりペースが伸びず中盤までトップ争いに加われずでしたが、最終ラップには2位にアタックできる距離まで接近したものの、周回が足りずここでチェッカーフラッグとなりました。もう少し気温が上がってくれば、あと数周ゴールが先なら、という「たれば」な気持ちにもなりましたが、最大のライバルに先着し3戦連続で表彰台フィニッシュという安定した結果を残した堤選手の健闘は賞賛に値すると思います。

これも難しいコンディションの中、予選での最適解を導いた堤選手の走り、それを実行できる車を準備したチームスタッフに大いに感謝したいと思います。

全国的に台風の影響を受けた今週末でしたが、不安定な天候の中を応援に来ていただいたファンの皆様、サポートしていただいておりますサプライヤーやご支援をいただいている皆様に多大なる感謝を申し上げます。

ドライバー #1 CABANA BS GR86

堤 優威



今週はずっと雨が降ったこともありドライで走れていない状況でした。雨の中でもブリヂストンタイヤのパフォーマンスも良かったです。金曜日の午後に行われた占有走行は雨が降ったことと、予選・決勝がドライになると言うことが予想されましたので、車を壊さないためにもスキップすることにしました。

予選を見据えたセットアップなどは行えませんでした。ぶっつけ本番のようなシチュエーションは得意の方なので、今回の予選もしっかり結果を残せたと思います。

決勝はトップの菅波選手がちょっとミスをしたようで、2位の松井選手がインを付いたところで混戦になりましたが、うまく3位に上がることができました。途中でこちらのペースがあがらず苦戦してしまいました。それでも終盤に向けてタイムも詰められたので良い走りができたと思います。

今回も3位表彰台を獲得できて、シリーズチャンピオンを獲得するうえではポイントの積み上げができたので良い結果になったと思いますが、今シーズンまだ優勝がないので、次の十勝戦では優勝を狙っていききたいと思います。

Rd.3 岡山国際サーキット チーフメカニック

齋藤 義史



雨の走行ばかりでセットアップの方向性やロングランでの確認などもできない状況でしたので、狙った通りに行けたかと言われるとわからない部分もありますけど、ライバルタイヤ勢の中を割ってゴールできたのはすごく良い収穫だったと思います。

金曜の占有走行も堤選手と相談してリスクを回避するためにスキップしました。予選に向けての確証的な目算はなかったのですが、山崎チーフエンジニアとも相談してうまくセットアップが決まったのと、堤選手の抜群のドライビングで4位と言うポジションを獲得できたと思います。

決勝は3位走行中に前を追えるペースが無かったのは課題かと思うので、次戦に向けてその辺を改善していきたいです。タイヤのパフォーマンスもブリヂストンタイヤとライバルタイヤとの関係で、気温や路面温度、天候が複雑に絡んで接戦になった週末だったなと思います。あと少しの気温差でレースの状況が変化していたと思いますので、絶妙な戦いが行われていたと思います。

次戦の十勝では山崎チーフエンジニアも参戦しますので、いろいろと相談しながらレースを戦えるようにしていきたいです。

BRIDGESTONE BRIDE EXEDY Speedhack Store Newf TO MEI GROUP CABANA Child.co.,ltd
POTENZA HYPER WATER. INGING MOTORSPORT. OXREX UnitedSound 焼肉 上田屋 株式会社 佃 佐 繁乃 鑑

GR Toyota Racing GR86/BRZ Cup

T2 CABANA RACING